

2019年度 学校関係者評価報告書

学校法人加藤学園
山形デザイン専門学校

2019年度 学校関係者評価委員会

開催日時：2020年2月10日（月）13：00～16：00

会場：山形デザイン専門学校 デッサン室

出席者：外部委員 杉本一伸（荘内銀行北山形支店長）

高橋敏子（高橋建築事務所副社長）

佐竹美津子（翠建築デザイン室室長）

委員 加藤静子（理事長）、加藤光慶（副校長）、田桐邦生（教頭）

加藤陽子（事務局長）、田桐優子（教務主任）、高橋宏斗（教務副主任）

実施方法：外部委員に自己評価報告書を通覧いただき、下記のとおりご意見・ご指導をいただいた。

記

項目：

(1) 教育理念・目標

若者が都市集中し地方の過疎化に拍車がかかっている現在、地元に残り続けるための技能技術を学べる学校であり続けることは、都市部の学校との差別化の意味でも重要と思われる。

(2) 学校運営

全ての評価が4（適切）になるように細部を検討することとの意見をいただき、改善された。

(3) 教育活動

教育理念に沿ったカリキュラムの編成がなされ、実施されている。

(4) 学修成果

資格の取得率の維持向上のため、カリキュラムの中で体系的にシステム化している。

(5) 学生支援

学力不足、精神的な問題のある者、経済的に不安のある学生が増加傾向にある。一人一人さらに細やかなケアが必要になってくると思われるため、対応策を講じておくべきと思われる。

(6) 教育環境

2019年10月より新校舎での運営となり以前に比べて環境は整えられたと見受けるが引き続き新しい生活環境へ対応した施設設備の拡充、更新を継続して行ってほしい。

(7) 学生の受け入れ募集

学生募集については適性に行われている。

(8) 財務

会計監査などのチェックを外部に委託しており、適正と判断する。

(9) 法令等の遵守

法令等の遵守は当然の義務であり、これからも徹底する。

(10) 社会貢献・地域貢献

授業課題をとおして学生の地域理解を深めるとともに、地域の広報活動の一助となっている。今後とも継続して行ってほしい。